

仮想アース Crystal E の導入(6) (HP 収載) ーデジタル再生系(1)ー

1. 始めに

前報(5)に引き続き、仮想アース Crystal E の導入について検討していきます。

2. Crystal E の試聴方法

前報(5)まではアナログ再生系における Crystal E の効果をしらべてきましたが、今回は Brooklyn DAC+を経由するデジタル再生系における Crystal E の効果をしらべます。

DMR UBZ1→SONICA DAC→DA-3000→Brooklyn DAC+→TruPhase

fidata HFAS1-S10→Brooklyn DAC+→TruPhase

デジタル再生系でアースを必要とするのは Brooklyn DAC+です。

従来のタコ足配線の RE-9 から切り離し、Crystal E に単独でアース線を繋ぎ替えます。

音源は DMR UBZ1 による BPODCH の再生と fidata HFAS1-S10 収納のハイレゾ音源です。

3. Crystal E の試聴結果

まず、現状のアースの状態で聴いておき、ついで Crystal E の効果を聴いていきます。

BPODCH は、ダンパーフレークの導入(2)と同じく、ロレンツォ・ヴィオッティ指揮ベルリンフィルによるマーラーの交響曲第 3 番とキーシン (ピアノ) とヤンソンス指揮ベルリンフィルによるリストのピアノ協奏曲第 1 番を再生しましたが、Crystal E に繋がると、オーケストラの分離と協和が向上し、音圧が上がったように感じます。また、大ホールに地鳴りのように響く低弦群やスタンウェイの左手の打鍵の沈み込むような表現が見事です。

fidata HFAS1-S10 収納のハイレゾ音源は、シュタルケルのバッハのチェロ組曲の 11.2MHzDSD 音源とクーベリック指揮ベルリンフィルのドボルザークの交響曲 8 番の MQA 音源を再生しましたが、Crystal E に繋がると、音が柔らかくなると同時に緻密になり、特に交響曲 8 番の MQA 音源は一層ハイレゾらしい音になります。

4. まとめ

DMR UBZ1 による BPODCH の再生と fidata HFAS1-S10 収納のハイレゾ音源再生
における Brooklyn DAC+への Crystal E の接続の効果を認めました。

以上